

2018年3月期 第2四半期決算 事業方針と今後の取り組みについて

2017年11月10日 住友林業株式会社

代表取締役 社長 市川 晃



1.中期経営計画の進捗	2ページ
2.事業環境	4ページ
3.下期の事業方針について	
・戸建注文住宅事業	6ページ
・木化事業	9ページ
・海外住宅・不動産事業	10ページ
4.ガバナンス	11ページ
5.投資の状況と株主還元	12ページ
6.熊谷組との業務・資本提携	14ページ

社会環境の変化を
先取りした戦略の推進

住友林業グループ 中期経営計画2018

グローバル市場での
多様な収益源の構築

木の資産価値の変革

事業構造
やビジネス
モデルの構築

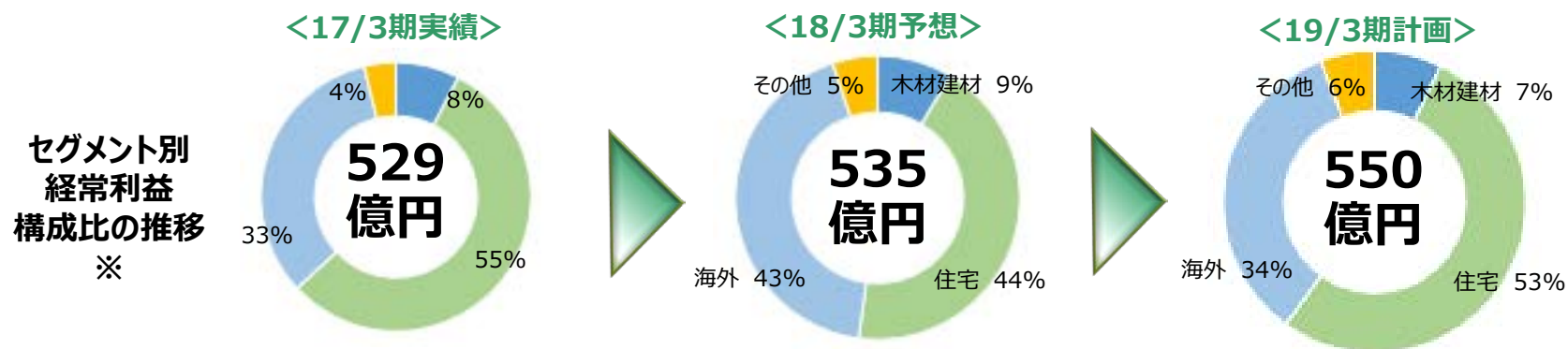
人財戦略
に基づく経営

企業風土
の改革

単位：億円

(連結)	17/3期実績	18/3期予想	19/3期計画
売上高	11,134	12,200	11,700
木材建材	4,244	4,360	4,200
住宅	4,663	4,590	4,850
海外	2,479	3,480	2,940
その他	230	370	398
調整	△ 482	△ 600	△ 688
経常利益	529 (578)	535 (-)	550 (-)
木材建材	45	50	45
住宅	323	255	330
海外	193	250	214
その他	22	30	36
調整	△ 55 (△ 5)	△ 50 (-)	△ 75 (-)

※17/3期の経常利益は数理差異を除く。() 内は決算ベース

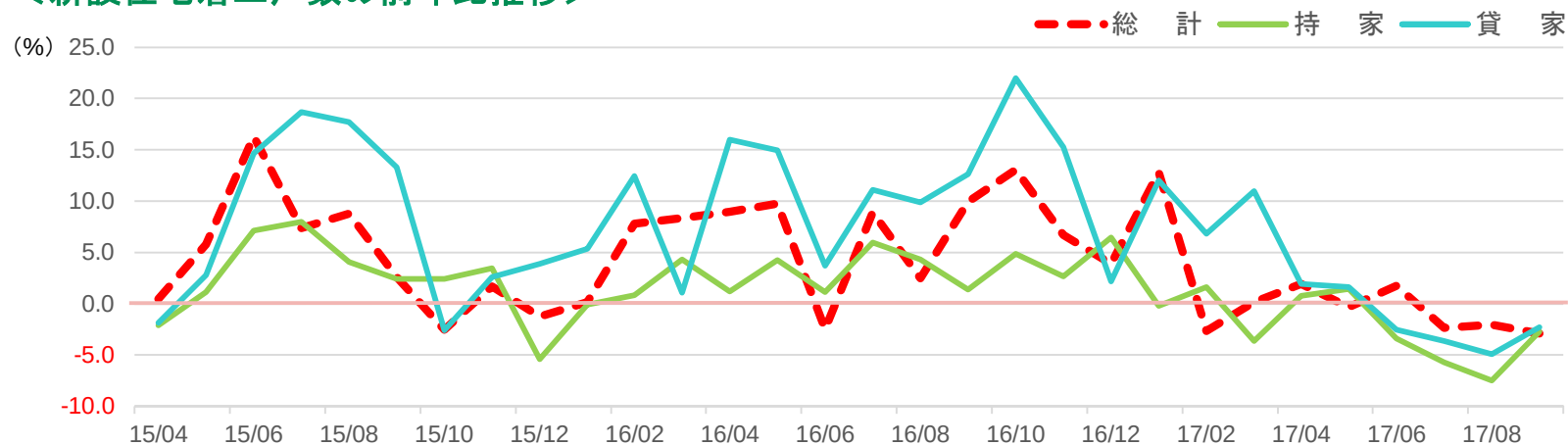


※円グラフの比率は、事業セグメント別経常利益（連結経常利益 - 「調整」）で算出（数理差異を除くベース）

＜新設住宅着工戸数の推移＞

(単位：千戸、%)	総 計		持 家		貸 家		分譲住宅		マンション		一戸建	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
2015年度	921	4.6	284	2.2	384	7.1	247	4.5	118	7.5	126	1.6
2016年度	974	5.8	292	2.6	427	11.4	249	1.1	112	-5.1	135	6.7
2017年4月	84	1.9	24	0.8	36	1.9	24	2.9	12	1.3	12	5.2
5月	78	-0.3	24	1.5	33	1.6	21	-3.9	10	-12.6	11	4.5
6月	87	1.7	26	-3.4	36	-2.6	25	15.5	13	27.1	12	4.8
7月	83	-2.3	25	-5.7	36	-3.7	21	5.7	9	15.2	12	-1.3
8月	81	-2.0	24	-7.4	35	-4.9	21	12.0	9	33.7	11	0.8
9月	83	-2.9	25	-2.7	38	-2.3	20	-5.3	9	-9.2	11	-2.2
2017年度上期	497	-0.7	148	-3.0	214	-1.7	132	4.3	62	7.2	69	1.9

＜新設住宅着工戸数の前年比推移＞



＜国内＞

＜短期的な事業環境＞

円安株高などを背景に経済環境は緩やかなプラス成長が続くものの、新設住宅着工戸数の総数は9月統計を含め3ヶ月連続のマイナスと国内住宅市場は停滞。

＜中長期的な事業環境予測＞

少子高齢社会の進行で、成熟社会としての新たな市場が生まれる。

＜海外＞

＜短期的な事業環境＞

世界経済は全般的に回復基調にある一方、各国の政治情勢など先行き不透明な状況も続いている。米国では、堅調な経済環境および個人消費等を背景に、住宅市場が好調に推移。

＜中長期的な事業環境予測＞

新興国を中心に中産階級の台頭など、成長市場ならではの変化が起きる。

住友林業の共働き家族の家
DUE CLASSO
 ドゥーエ・クラッソ
 共働き世帯などライフスタイルに寄り添った提案住宅



邸宅設計 上質感あふれるこだわりの住まい



The Forest **BF** 選べる天井高と開放的な大開口・大空間



- 提案力、設計力といった強み
- 土地施策（提携不動産業者との関係強化など）

一次取得者層へのアプローチを強化するなどし、上期受注は棟数ベースで前年比プラス。



「Forest Selection BF」

- ・自由設計で培った豊富なプラン
- ・人気の高い仕様や設備

高いクオリティをフルセットで提案する商品
「Forest Selection BF」を投入。





「Forest Selection BF」

- これまでの設計経験を活かし
1,000のオリジナルプランを用意
- 日々忙しいお客様も
限られた時間のなかで提案が可能

新たな提案手法により受注拡充を図る。





千里リハビリテーション病院 アネックス棟
「木の持つ治癒力」を最大限に生かしたリハビリテーション施設



【画像提供：Nacasa & Partners 菅野佳生】

設計/施工/監理体制を充実させ、
引き続き新たな収益事業の一つとして
育成していく。



国分寺フレイバーライフ本社ビル
鉄骨造を「木」で耐火被覆した7階建て木質ビル



バンコク＜高級分譲マンション開発＞

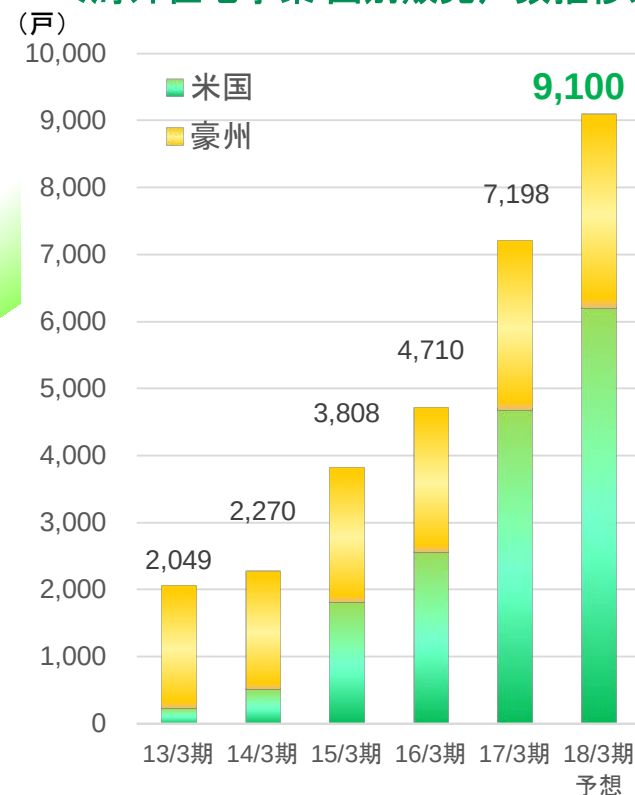


ジャカルタ郊外＜戸建分譲住宅＞

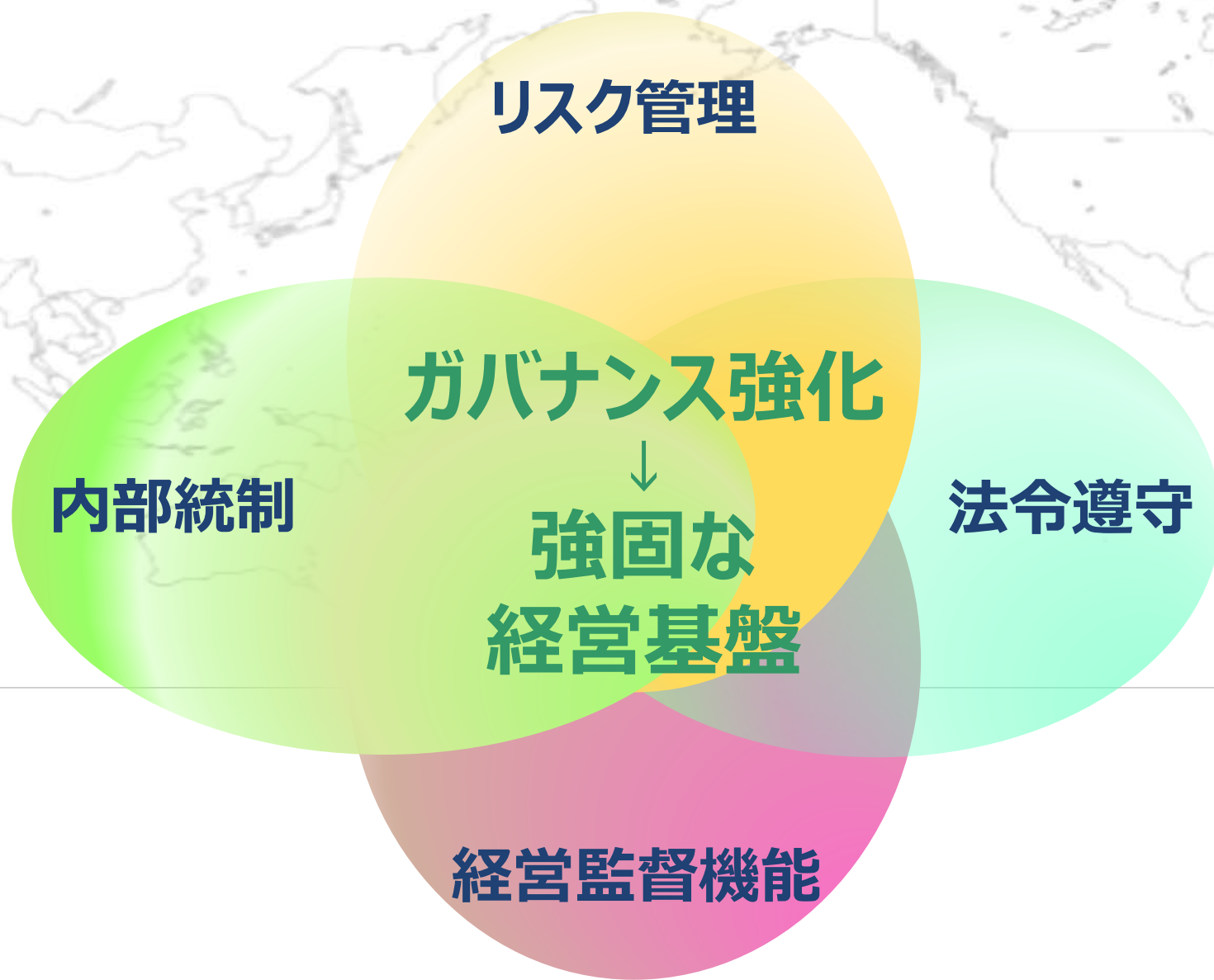


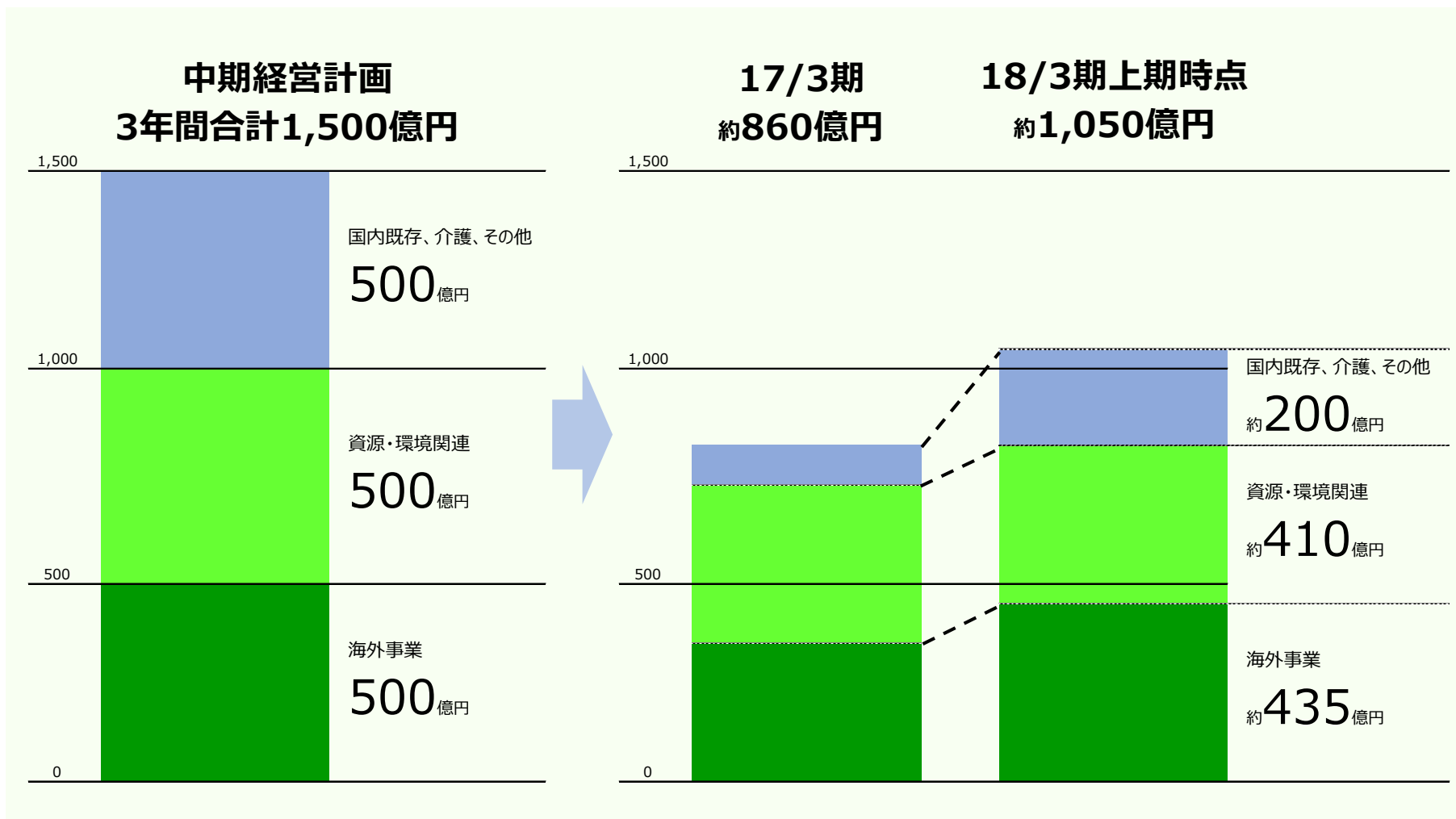
ノースカロライナ州＜賃貸住宅開発＞

＜海外住宅事業 国別販売戸数推移＞

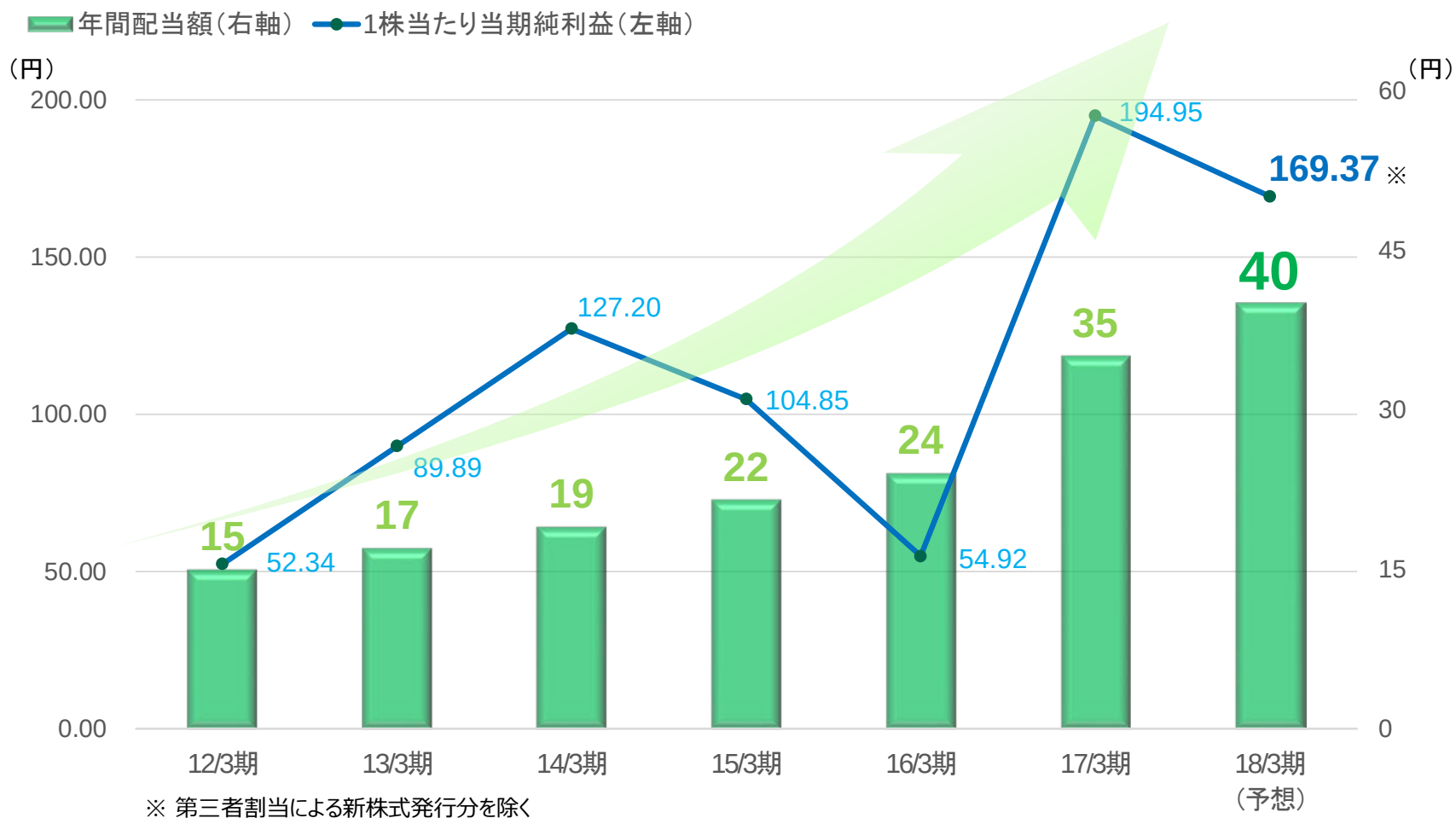


米国およびタイでの賃貸・不動産事業、
インドネシアでの戸建住宅事業を開始。
海外住宅・不動産事業の拡大を加速





持続的な成長に向けた体制構築のための投資を継続する。
実施済の投資を着実に将来の収益力の向上に繋げていく。



継続的かつ安定的な配当が基本方針

今期の年間配当額は期初予想通り40円とし、6期連続の増配予定

木と生きる幸福



住友林業



高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

既存の業界の枠組みを超え、独自性のある業界ポジション構築と、新しい市場の創出、収益機会の拡大をねらう。



①木化・緑化関連建設事業

- ・「中大規模木造建築」という新しい市場において、協業により地位を確立。



東松島市立宮野森小学校 屋内運動場

②再生可能エネルギー事業

- ・両社の強みを活かし、段階的に複数の発電プロジェクトに対応。



三井住友海上駿河台ビル 外構緑化



紋別バイオマス発電所

③海外事業

・米国、豪州、東南アジアなど
様々な国や地域において、
「住宅」・「建設」・「都市開発」
の分野でグローバル戦略
を推進。

④周辺事業領域

- ・ヘルスケア関連
- ・木材建材の流通ネットワーク
の活用

⑤共同研究開発

- ・新工法や部材の開発など

シナジー効果の目標※

売上高ベース 約1,500億円
営業利益ベース 約100億円

※中長期の両社それぞれにおける効果の単純合計値

木と生きる幸福

住友林業グループ

ご清聴ありがとうございました。